

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成22年2月12日(2010.2.12)

【公開番号】特開2005-99009(P2005-99009A)

【公開日】平成17年4月14日(2005.4.14)

【年通号数】公開・登録公報2005-015

【出願番号】特願2004-248127(P2004-248127)

【国際特許分類】

G 01 B 11/00 (2006.01)

G 06 F 3/042 (2006.01)

【F I】

G 01 B 11/00 A

G 06 F 3/03 3 3 0 F

【手続補正書】

【提出日】平成21年12月16日(2009.12.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0002

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0002】

機械式マウスは、カーソルの位置決めをして、さまざまなアプリケーションにおける機能を選択するのに有用なツールとして、コンピュータ・ユーザには周知のところである。これらの機械式マウスは、ボールと、関連センサを利用して、相対運動を検出する。しかし、機械式マウスは、相対座標トラッキングを利用してあり、一般に可動部を有し、2次元位置入力に制限され、分解能が低く、特定の表面においてしか有効に機能しない。

光学式マウスは、光を利用して、相対運動を検出する。一般に、光学式マウスは、マウス・パッドまたはテーブル表面のようなある表面を照射するための、発光ダイオード(LED)のような光源を備えている。光が表面に当たると、光の一部は反射される。光学式マウスは、反射光を検出するための搭載検出器を備えている。電子計算装置が、反射光に基づいて、光学式マウスの相対運動を測定する。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0003

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0003】

【特許文献1】E P 0 3 6 6 1 1 2 A 2

【特許文献2】E P 1 1 0 0 0 4 1 A 2

【特許文献3】E P 0 2 7 0 9 0 9 A 2